

# 2024年度・第4回未来会議(全体会)議事録

鹿ノ台未来まちづくり会議(未来会議)副会長(会長代理) 黒部 實  
副会長兼書記・広報 伊藤 智子

日時: 2024年7月21(日)13:30~16:30

場所: いきいきホール大会議室

出席者(順不同、敬称略):

黒部 實(副会長)、伊藤 智子(副会長・書記・広報)、鎌田 卓(事務局長・会計)、  
中世古 昭一、山田 勲、黒田 勝行、塚本 麻由、菊地 雅夫、山田 修  
欠席: 渡辺 昇、平尾 英城

配布資料:

- ① 令和6年度第4回(7月)未来会議(全体会&分科会)議題(案)
- ② 公園・夢プラン大賞2024 応募資料
- ③ 「みんなでお月見と手作りランタン絵付け体験」チラシ案
- ④ 令和6年度7月春まつり資料
- ⑤ 鹿ノ台の支え合い委員会実績表
- ⑥ 生駒市コミバス『たけまる号』鹿ノ台線 乗車実績(人数) R6.6月度
- ⑦ 生駒市コミバス『たけまる号』鹿ノ台線 乗車実績(人数) 月別累計
- ⑧ R6年6月度 鹿ノ台コミバス乗車実績

## 今後の未来会議の体制について

7月6日に未来会議の須都 紘会長がご逝去された。ご冥福をお祈りする。

〈黙とう〉

これまで須都会長が未来会議をリードされてきたが、今後は当面、黒部副会長が会長代理として司会を務める。また、中世古さんを書記として幹事会に迎えたい。⇒承認

平尾さんより、ご本人のご意向により、退任されたいとの申し出があった。  
⇒了承

## 「公園・夢プラン大賞2024」応募について

先月の全体会で公園財団の「公園・夢プラン大賞2024」の「実現した夢」部門への応募内容について話し合っていた。その後、文言の修正、および未来会議関連で2通の応募が可能かどうかの確認について、メンバーの皆さんにご協

力いただいた。

今回配布した内容で、「未来まちづくり会議・春まつり実行委員会」と「未来まちづくり会議・子育て分科会」の2通の応募を行う。ご意見がある方は後日連絡を頂きたい。

## 子育て分科会

### お月見会；

昨年の中公園ワークショップ参加者のグループによる企画で、9月15日の夕方に中公園でお月見会を実施する。初めての試みなので、主催は「未来会議子育て分科会有志」とし、呼び掛ける範囲は「中公園ワークショップ参加者LINEグループ」からの口コミ程度と考えている。

生駒市みどり公園課に問い合わせたところ、この企画であれば利用許可申請は必要ないとのことである。未来会議幹事会からは、イベント保険をかけた方がよいので未来会議の予算から助成するとの提案を頂いた。

意見： 未来会議は連合傘下の団体であり、未来会議の範疇のイベントであれば呼びかけは鹿ノ台全体に行い、人数制限は先着順または抽選という形にすべきだ。イベント保険をかけるなら、その費用も出元は自治会費である。

回答： 若い世代がフルタイムで働きながらもボランティアで小さなイベントを実施したいと企画している。ボランティア4～5人で出来る範囲でしか実施できないので、抽選や先着順であっても、当落をすべてお返事しなければならないことなどを考えると、広く呼びかけるのは難しい。そもそも、そこまで負担がかかるのであれば、若い世代は誰もイベントをやろうとは思わないのではないか。

意見： 昨年の中公園ワークショップは、住民が気軽に公園利用できるようにすることが目的だった。未来会議が、未来会議に与えられた裁量の範囲で、若い世代の主体的な活動を支援(助成)することに問題はないと考える。

意見： 全体に周知するには評議員さんをお願いして回覧する必要があるが、そこまでの規模のイベントではない。イベント保険をかける必要もないと考える。

イベント保険料を未来会議の予算から拠出することに対し、採決を行った。

結果： 賛成7人、反対1人、保留1名

### 水遊びイベント；

9月上旬に昨年同様、プール持ち寄り&水鉄砲のイベントを1日のみ開催したいと考えている。昨年の主催者の方には、去年のやり方を教えて頂いたり、周りへのお声かけ等にはご協力いただけるが、実際に動ける人があまりいないので、相談させてほしい。

公園の水を使用し、プール等で場所を占拠するので、このイベントを実施するには市への許可申請が必要である。昨年は未来会議会長の名前で申請を行った。個人で申請すると使用料が発生する。

意見： 去年のボランティアはどれくらいいたのか。時間があえば協力できる。

回答： 昨年は中央公園ワークショップの6つのチームのうちの1つ(4名+その家族)が中心となり、未来会議メンバーも3名ほど協力して実施した。

意見： 熱中症やケガなどの心配があるので、こちらのイベントの方が保険の必要性が高いのではないか。

意見： 水遊びイベントは未来会議が市に許可申請を行い、未来会議が主催者になるので、万が一の際には責任を問われる立場である。

⇒ 「お月見会」へのイベント保険適用は見送り、「水遊びイベント」に未来会議の助成でイベント保険をかけることを決定した。

## 鹿ノ台春まつり

開催時間は、前回から30分伸ばし、11:00～15:30とする。キッチンカーへの集中を緩和するためである。

キッチンカーは前回の6台から8台に増やし、場所使用料(協賛金)は1台につき3000円を頂くことにした。

いそかわやディアーズキッチンなどショッピングモールに共催を呼び掛け、お弁当などに「鹿ノ台春まつり」の共通シールを貼って販売していただくことを考えている。共通シールを貼った商品については、春まつりで広報する。

保険について検討する必要がある。キッチンカーからの協賛金を保険料に充てたい。

意見： 前回の様子を考えると、6台を8台に増やしても十分ではないと思う。10台にしてはどうか？ ⇒検討する。

## 支え合い委員会活動状況(2023年・2024年)

2023年度は、ゴミ問題で44回、家屋内の問題で10回、家屋外の問題で2回、見守りで9回、出動した。2023年度は、お試し期間ということで無料とした。

2024年度前半(6月末)は、ゴミ問題で17回、家屋内の問題で2回、家屋外の問題で2回、出動した。家屋内は蛍光灯とグロー球の交換が多い。家屋外では水栓のパッキン交換や、門扉の修理など。今年度から入会金250円(半年分)、30分100円で実施している。1回1時間(200円)で済むことが多い。業者に頼むと数千円かかることが多い。サポーターの方も数名いらっしゃるの、是非利用して欲し

い。

その他、「いきいき街づくり会」が実施している移動・送迎(2023年度で290回)、健康体操&サロン(同期間に参加者930名)、地域 ICT 委員会の教室(同期間に参加者480名)などであった。

結ネットには現在430世帯が参加している。

情報: 「見守り」については、必要がありそうな方を絞り込む作業を行っている。今後、必要な方には担当者も決めて対応していく予定だ。

情報: ゴミ出しのお手伝いをして下さっているサポーターさんから、オムツを一時保管できる場所があったら嬉しいという意見が出ている。地域包括支援センターからも一時保管場所がつかれないかとお話があった。しかし、ペットの汚物を捨てる人がいたりとマナーの問題があり、簡単ではない。

#### 結ネットについての議論:

意見: 結ネットは有効活用している利用者が少なく、連合会からの大きな支出に対して、それに見合うメリットがあるのかを精査する必要がある。連合会に契約内容、情報提供の内容、閲覧数などの情報を提供して欲しいと管理者に対してお願いしているが、なされていない。

意見: 高齢者は、スマホの小さな画面では字が小さくて使いこなせないが、わざわざパソコンで見るのであればホームページで良いと感じる。結ネットを退会する方法も明示されていないので、脱退する方法を公開して欲しい。

意見: 参加1世帯あたり年間1000円ほどかかるが、利用する人の受益者負担にすべきではないか? そうでないと、参加世帯が増えるごとに連合会負担が増えてしまい連合の予算では賅えない。受益者負担であっても、評議員に徴収の手間をかけない方法を検討すべきだ。

意見: 結ネットの管理権限を今も前連合会長(ICT 委員会委員長)が持っていることは問題ではないか。個人情報の管理、配信内容の精査、入会・脱会の手続きの権限が ICT 委員会委員長に集約されているが、ICT 委員会は連合会からその権限を委任されていない。

意見: 結ネットに加盟した際、連合会(連合総会・連合役員会)で承認するという手続きを踏んでいない。

意見: 結ネットで「いきいきホール」や集会所の会議室を予約できるようになっているらしい。しかし連合役員会も連合の事務員の方も何も知らされていない。そのため、結ネット上で予約したが、実際には予約が入っておらず使えなかったというトラブルが生じている。

⇒連合会は、連合会として結ネットを広報して加盟者を募った経緯があり、この問題に対処すべきではないか。

## 未来会議の今後について

連合会長： 今後、鹿ノ台の自治連合会と関連の組織および活動のあり方について精査していきたいので、すべての委員会から距離を取りたい。したがって、未来会議からも退任したい。

意見： これまで、未来会議では春まつりなどに取り組んできた。それはそれで良い活動だが、未来会議として今後の鹿ノ台のあり方を議論していくという部分が足りていなかった。今年度の未来会議では、今後の自治会のあり方について検討課題として取り組んでいく予定だった。連合会がこの課題に取り組んでいくのであれば、未来会議と両輪で取り組んでいく必要があるのではないか。

意見： 連合会の課題で、複数年かけて取り組む必要があるものに対応するための組織として、13条に基づく特別委員会として未来会議が発足した経緯がある。

意見： 新しい連合会が発足し、自治会のあり方について検討していく上で、未来会議と組んで進めるのではなく、連合としてたたき台をつくっていくことを選択したということだろう。これは未来会議の側にも反省すべき点があるのではないか。

意見： 連合には、結ネットの問題や資源ゴミからの収益改善などに取り組んでいただき、まず成果を上げて信頼を得ていただければ、自治会の改革もうまくいくのではないかと。

連合会長： 連合会長： 未来会議や各委員会の皆様にも適宜ご意見をうかがって進めていくつもりだ。

⇒次回の未来会議では、今後の未来会議のあり方についての議論を全体会の最初に行うこととする。

## 鹿ノ台コミバス月度乗車実績について(報告)

### 6月度の乗車実績；

—6月の運行日数は12日、乗車人数は月間で803名、1日あたり66.9名と順調に増えている。1日あたりの乗車人数は4月が56.0人、5月が61.5人だった。

—ECOKA 委員会のメンバーが、「コミュニティバス・たけまる号鹿ノ台線」の本格運行を記念し、経緯が分かるDVDを制作した。14分ほどの動画である。連合ホームページにリンクを貼って誰でも視聴できるようにしたい。鹿ノ台中学校の吹奏楽部メンバーが登場するが、ホームページへの掲載を中学校から許可頂いた。

## 未来まちづくり会議 役員名簿(2024年7月22日現在)

黒部 實 副会長(会長代理)

伊藤 智子	副会長
鎌田 卓	事務局長・会計
中世古 昭一	書記(2024年8月～)
黒田 勝行	委員
山田 勲	委員
山田 修	委員
渡辺 昇	委員
塚本 麻由	委員

## 次回

日時: 2024年8月18日(日) 13:30~15:30  
第I部 全体会 13:30~15:10  
第II部 分科会 15:15~16:30

幹事は13:15集合

場所: いきいきホール大会議室

以上